

－スーダンの無医村へ医療サービスを届ける「Dr. カー」－

国際協力機構（JICA）は、9月27日、アクシオヘリックス株式会社と「スーダン国 Dr. カー（移動型診療所）展開に関する運行支援普及・実証事業」にかかる業務委託契約を締結しました。本契約は、我が国の中小企業を対象に、JICA が本年度より開始した「民間提案型普及・実証事業」として実施されるものです。

スーダンでは、医療インフラの未整備／医療サービスの不足、慢性的な保健医療人材（特に医師）不足、病歴記録の欠如による不要な投薬による医療コスト増加、医療設備のメンテナンス体制の不足等の深刻な課題を抱えています。特に地方部では医療サービスへのアクセスが極めて低いことから、スーダン政府は同分野の戦略目標の中で「質の高い保健情報システムの包括的な構築及び維持発展」、並びに「質の高い包括的なヘルスケアの国民への平等な浸透及び医療サービスへのアクセス向上」を最優先課題に掲げています。

今回契約した事業は、移動型診療所である「Dr. カー」を導入することによって、無医村地域等での医療サービスへのアクセスを改善することを目的としています。「Dr. カー」は、巡回診療に必要な医療設備、及び遠隔診療システムを搭載した移動型診療車両であり、病院との密接なコミュニケーションを可能にします。また、日本国内では、東日本大震災時に被災地で活動した実績があります。本事業では、実証試験としてゲジーラ州及びハルツーム州において「Dr. カー」を計7台導入し、現地適合性の分析や医療機関及び行政機関関係者を対象に啓発セミナーを実施します。さらに現地人材育成を対象として、医療機器のメンテナンス等に関する研修を実施することで技術やノウハウの定着を図ります。

今回受注したアクシオヘリックス株式会社は、「Dr. カー」による過疎地診療や学校健診を通じて、スーダン国の医療の質の底上げを図るモデルを検証し、将来的には他州や他国への展開を目指しています。「民間提案型普及・実証事業」は、我が国の中小企業等の製品・技術が途上国の開発に有効であることを実証するとともに、その現地での適合性を高め、普及を図ることを目的としたもので、平成25年5月に第一回の公示を行いました。JICA は、開発途上国の開発ニーズや課題の解決に資する優れた技術を有するアクシオヘリックス株式会社と連携し、同社の技術の普及を通じ、開発途上国の課題解決に貢献していきます。

以上